

今年前半の国家戦略会議の進め方について

1. 日本再生戦略の策定に向けた検討

(1) 検討内容

日本再生の基本戦略に掲げられた施策の具体化や目標、達成時期、工程等を明らかにしていく。特に、春頃までには、以下に掲げる主要政策課題を中心に、国家戦略会議において重点的に議論を積み重ねる。その他の個別課題についても、順次検討を深め、年央に日本再生戦略として策定する。また、新成長戦略のフォローアップを実施し、実行を加速化すべきものを加速化するとともに、進捗状況を踏まえた日本再生戦略を策定する。

(2) 検討の視点

日本再生には経済成長が重要であり、そして、成長力を高めるには、社会のあらゆる場面でイノベーションを起こすことが不可欠。政策課題を議論するに当たっては、具体的にどのようにイノベーションを起こしていくかという視点に立って検討を進める。

(3) 審議の進め方

戦略会議における審議に先立ち、事前に民間議員による検討会合等において政策課題の検討を行う。これを踏まえ、戦略会議では、関係大臣参加の下で議論を行い、課題への取組方針を示していく。

2. イノベーション実現に向けて、当面、重点的に議論する主要政策課題

◆ 新産業・新市場の創出

一医療、科学技術等の様々な分野におけるイノベーションを喚起し、新たな産業や市場を創出。

「基本戦略」の施策例：創薬・医療機器開発等で「世界をリードする日本」を実現する戦略、産学のイニシアティブによる科学技術イノベーション

◆ 次世代の育成と活躍できる社会の形成

一成長分野を担う人材やグローバルに活躍する人材の育成・確保を図るとともに、持続可能な社会保障制度の下、若者や女性等の雇用の場の確保やチャレンジできる環境の整備により、分厚い中間層の復活を実現。

「基本戦略」の施策例：若者雇用戦略、グローバル人材の育成

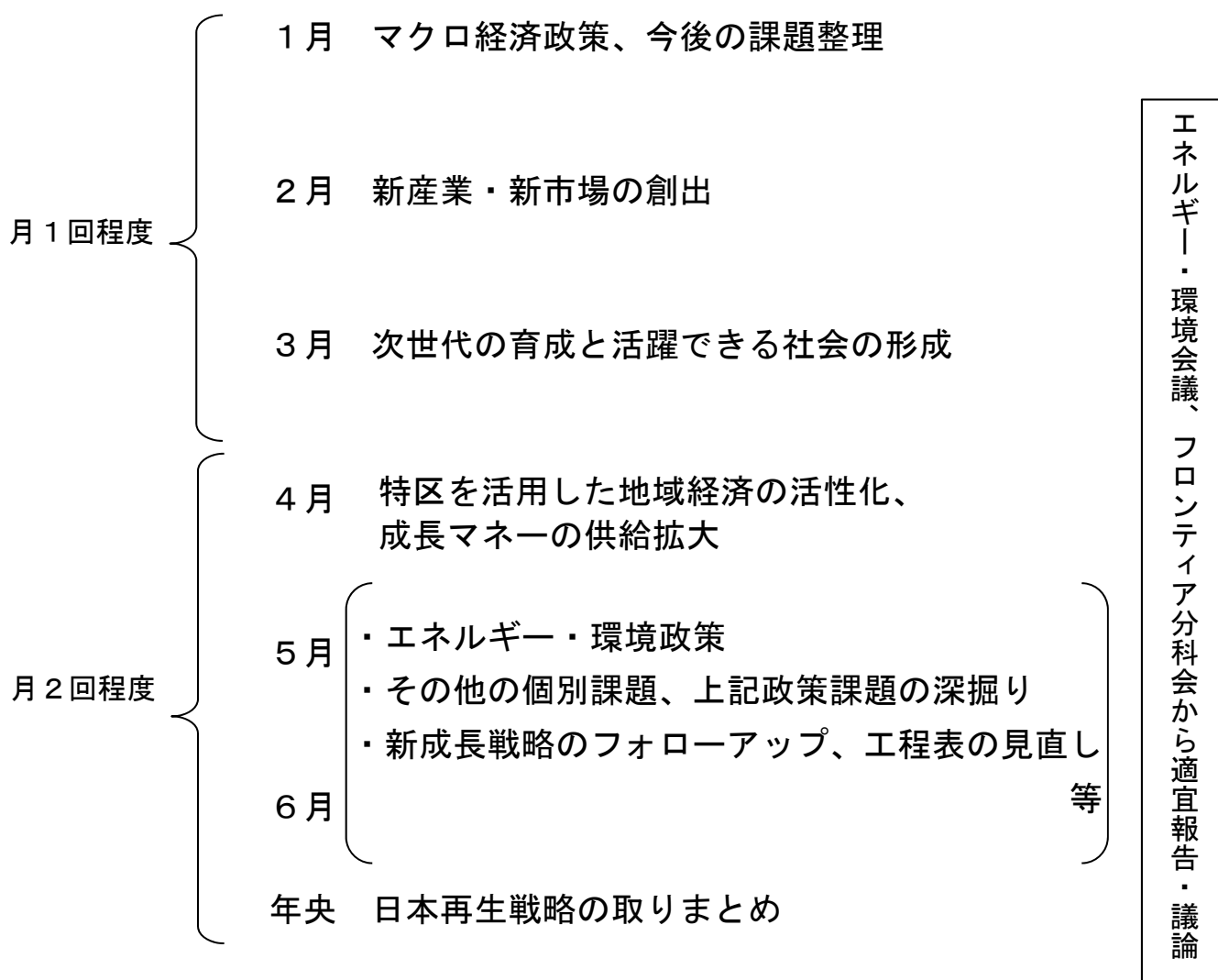
◆ エネルギー・環境政策

一温暖化対策にもつなげる再生可能エネルギーや蓄電池等の普及・促進による省エネ、創エネ、蓄エネを推進。

「基本戦略」の施策例：グリーン成長戦略（仮称）

- ◆ 特区を活用した地域経済の活性化
 - －復興特区や総合特区等を最大限活用し、地域の創意工夫の下、創業や起業などを通じて地域経済を活性化。
- 〔「基本戦略」の施策例：国際戦略総合特区、地域活性化総合特区、復興特区〕
- ◆ 成長マネーの供給拡大
 - －経済成長に向けて成長マネーの供給が円滑に行われる仕組みを整備。
- 〔「基本戦略」の施策例：官民連携のファンド創設、成長ファイナンス関係閣僚会議における政府一体となった推進〕

3. 今後の審議スケジュールのイメージ



※この他に、時宜に応じて重要課題の議論を行う。